

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高 1	外国語科	論理・表現 I	2	特進コース
教科書・副教材		Vision Quest English Logic and Expression I Standard、教科書準拠ワークブック		

科目の目標			
●科目について 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。 ●コンピテンシーについて 本授業での個別最適な学びを通して、多様な他者との関わり、多様な相手を尊重することや、自ら主体的に問い作り続け、考え続ける力、周囲と深い関係を育む力を養う。また、英語と関わることで、将来それらをどのように活かすかについて考え、自分らしい生き方・在り方を考える力を養う。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。知識・技能を活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話して・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
評価の方法	・定期テスト	・定期テスト	・授業中の活動への取り組み状況 ・プリント・ワーク等の提出物 ・プレゼンテーションなど ・毎授業のリフレクション

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学 期	Lesson1 文の種類 ・肯定文・否定文・さまざまな疑問文や命令文を適切に作り、それに応答することができる。	3	・定期テスト ・授業中の活動の取り組み状況 ・プリント・ワーク等の提出物 ・プレゼンテーションなど ・毎授業のリフレクション
	Lesson2 文型と動詞 ・5つの文型と There is 構文の構造を理解し、単文を正確に作ることができる。	3	
	Lesson3 時制 ・基本時制の概念をイメージとして把握し、伝えたいことを適切な時制・進行形で発話できる。	3	
	Lesson4 完了形 ・現在・過去・未来完了形の概念をイメージで把握し、現在形や過去形と区別できる。	3	
	Lesson5 助動詞 ・助動詞それぞれの意味や用法を学び、適切に使い分けて話者の気持ちや判断を表すことができる。	3	
2 学 期	Lesson6 受動態 ・受動態のさまざまな文の作り方を学び、必要に応じて使うことができる。	5	
	Lesson7 不定詞 ・不定詞のさまざまな用法を学び、意味上の S+V を含む文を作ることができる。	5	

	る。		
	Lesson8 動名詞 ・動名詞のさまざまな用法を学び、動名詞句を用いて多様な文を作ることができる。	5	
	Lesson9 分詞 ・名詞を修飾する用法、補語になる用法を使うことができ、分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現できる。	5	
3 学 期	Lesson10 関係詞 ・関係詞を用いた複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。	4	
	Lesson11 比較 ・複数のものを比較することで、物事の状態をわかりやすく伝えることができる。	4	
	Lesson12 仮定法 ・仮定法を用いて事実と違うことや実際には起こり得ないことを述べることができる。	4	